



コロナ明け、新時代の町内会イベント



高田町内会会長
相沢 一夫

令和5年度がスタートしました。3年に渡るコロナ感染症規制も緩和され諸行事も開催できる見込みになりました。

7月22日の納涼盆踊り大会は形式を変えて実施したいと思っています。

各種のブース出店を増やし夏祭りの要素を多く取り入れて行くつもりです。

そして盆踊り大会のプログラムの最後は、ケアプラザの協力で花火大会を実施します。

連合町内会の行事では、10月8日に詳細は未定ですが大運動会に代わる「たかた防災ふれあいまつり」、11月12日の「たかたの丘音楽祭」ですが、こちらは従来の慶應大学のジャズバンドは参加なしで地元の音楽の団体等と学校3校の演奏・合唱で構成して行く予定です。

町内会で取り組むイベントを通じて、いざという時に助け合える関係を築くきっかけになると思います。3年ぶりのイベント開催で、初めての試みも多く手探り状態ではありますが、皆様のご理解・ご協力を引き続きよろしくお願い致します。

令和4年度通常総会

令和4年度 通常総会が去る令和5年4月16日(日)に開催されました。3年ぶりに一堂に会した開催となりました。委任状も含めて過半数229名の班長に出席頂いたので総会は成立し、議案内容の審議・決議承認が行われました。

総会で承認された議案内容は、会員世帯に5月配付します。

令和5年度の主な活動計画

() 内は場所

- 定期活動
- 毎月5日 定例理事会 町内会配布物・回覧物仕分け
 - 日常的な戸外活動 ペタンク・グラウンドゴルフの練習
(高田小・高田東小・高田西公園・高田第四公園)
 - 環境美化事業 毎月地区内公園清掃、高田駅前ロータリー定期清掃年3回
- 4月16日(日) 令和4年度通常総会
- 4月24日(月) 班長会(高田研修所) 他に6/22(木) 10/22(日) 2/11(日)
- 5月21日(日) 第24回高田地区ペタンク大会(高田小)
- 6月 実施日未定 高田東小地域防災拠点訓練(高田東小) 他に12/未定
- 7月 2日(日) 環境美化事業(早淵川側道清掃)
- 7月 8日(土) 防犯パトロール 他に12/9(土)
- 7月22日(土) 納涼盆踊り大会夏祭り(高田小)
- 10月 8日(日) たかた防災ふれあいまつり(高田中)
- 11月12日(日) たかたの丘音楽会(高田中)
- 11月19日(日) 高田中学校地域防災拠点訓練(高田中)
- 11月 実施日未定 高田中学校生徒対象防災訓練(高田中)
- 11月25日(土) 第38回高田地区グラウンドゴルフ大会(高田中)
- 1月 実施日未定 第10回会員交流会(未定)

※日程は暫定です。実施にあたって回覧・掲示でお知らせします。

「第21回 市長と語ろう！」開催

令和5年2月25日(土)
於:高田地域ケアプラザ

横浜市の「市長と語ろう！」は、地域活動する団体と市長との間でのコミュニケーションの機会です。去る令和5年2月25日(土)に、山中竹春 横浜市長と高田町連合町内会との「第21回 市長と語ろう！」が高田地域ケアプラザで開催されました。

高田町連合町内会からは相沢一夫会長をはじめ役員・関係者が参加しました。高田地区は、土地が低い地域が多く、浸水のリスクが高い事から今回は「防災(地域の防災への取組について)」をテーマに、以下のような活発な意見交換が行われました。



山中市長に説明される相沢会長

- ・地区内の小・中学校を地域防災拠点とした、災害時の備えについて
- ・冊子「水害への備え」の作成・配付と、水害の可能性のある地域に住んでいることを正しく知って貰うための地域住民へのはたらきかけについて
- ・感染症予防など、昨今の世情に則した「在宅避難」という選択肢への動機付け
- ・災害時に「無事に避難生活できている」ことを“無事ですタオル”で周囲に知らせる、高田町内会での取り組み

- ・高田町連合町内会の各自治体で行っている、スタンドパイプ式初期消火器具を使った自主的な消火訓練の活動について

「第21回 市長と語ろう！」の様子は、横浜市のホームページに写真付きで詳しく掲載されています。是非ご覧ください。



千葉 をくづれ水仙郷

第9回高田町内会 会員交流会

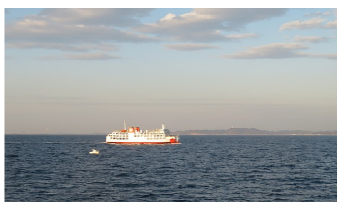
令和5年2月18日(土)
参加者53名



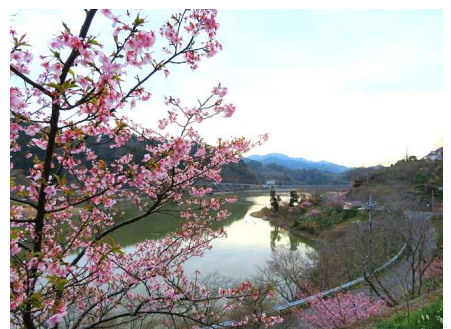
いすみ鉄道車内

このところ寒い日が数日続いたが、今日は風もなく暖かい。交流会はコロナ禍で令和元年に山梨勝沼方面に行ってから3年ぶりとなります。

朝8時に2台のバスに乗って高田を出発。都筑インターから高速に乗り、第三京浜、横羽線、川崎線を経てアクアラインへ。最初の立ち寄り場所、海ほたるでトイレ休憩。短時間の休憩タイムだったので急いで屋上まで行き、霞んだ東京湾の写真を数枚撮って急いでバスへ戻った。次の目的地は木更津 道の駅「うまくだの里」。たくさんのピーナツ製品が並んでいて、どれを選ぶか迷った。その後、河津桜が3~5分咲きの大多喜駅でいすみ鉄道に乗り換え。普段は1両編成のディーゼル車が私たちのために2両編成。貸し切り状態の車内。テレビで放送される菜の花を眺められることを期待したが、沿線には野生化した菜花がところどころ咲いている程度。のどかな田畑の中を30分ほど揺られながら終点の大原駅に到着。先回りしていたバスに再び乗車し、海水浴場のある御宿で予約済みのお刺身定食。たくさんの方が、刺身の豪華な見た目と美味しさに感激し、ご飯もお代わりしておな一杯に。



最後は、佐久間ダムで地元の人が頼朝桜と呼んでいる早咲きで満開となった桜を見物。斜面の歩道で集合写真を撮影。帰路は渋滞を避け、金谷港から東京湾フェリーで夕焼けの横須賀市久里浜港に渡り、6時半に高田に戻ってきました。



「高田町連合町内会委嘱団体で活動されている高田町内会選出の委員」

高田町連合町内会委嘱団体で活動されている高田町内会選出の委員をご紹介します。各委員会は、日常的に活動されています。会員のみな様のご協力をお願いします。○は新任(敬称 略)

	民生委員児童委員	保健活動推進員	環境事業推進委員
1区	・大場 貴子 ・桑名 孝治 ・荒川 進孝 ○和才 明子 ・宮田 光明 ○鈴木 雅子 ・小野 文夫	・川島 幸子 ○庄司栄里子 ・西井 千春 ○中田 悦子 ・中尾なつ代 ○森 忠芳 ・鈴木三千代	○佐久間元照 ・黒瀬 義孝 ・今井 敏博 ・守安 良政
2区	・寺尾 眞喜 ・田中 貞雄 ・矢野 泰秀 ・長澤真理子	・伊藤 靖子 ○村岡美智子 ○小堀 英子 ○田中 照	○佐藤 直人 ・上田 順子 ・笛田 重喜
3区	・三澤美恵子	・小黒千恵子 ○外園 育子 ○松尾 恵美	・門屋 佳子 ・芹田 文夫
任期	令和4年12月～令和7年11月	令和5・6年度	令和5・6年度

	スポーツ推進委員	青少年指導員	明るい選挙推進協議会推進委員	家庭防災員連絡員
1区	・富本 正幸	・荒川 進孝 ・村井 善延	・桑名 孝治 ○眞鍋 康代 ・鈴木 雅子	・佐野あゆみ ・猿渡伊佐子
2区	・飯田 司 ・渡部 恵	・荻原 秀次 ・山口まどか	○芹田 馨	・伊藤いわ子
3区	・荻原 幸男	—————	・宮田 利一 ・宇元 芳男 ○志田 克	・世戸 美穂
任期	令和5・6年度	令和4・5年度	令和5・6年度	

班長会



令和5年2月12日(日) 午後1時30分
高田地域ケアプラザ所長の栗原正朋様と保健師の山崎綾子様を講師にお迎えして、「健康ってなあに？」をメインテーマにお話をいただきました。

まだコロナ感染防止対策が緩和前ということもあり、参加は申し込み制としました。

◎人はいくつになっても健康で自立した生活を送るため、健康寿命を延ばすことが大事。高齢になると体力・気力が低下しフレイルになります。フレイルとは健康と要介護の間の虚弱な状態の事です。

◎このフレイルを予防するため、「運動」「口腔」「栄養」「社会への参加」をしましょう。

○**運動**では「ハマトレ」と言うのが横浜市歌に合わせてトレーニングを行うのがあります。

○**口腔**では噛む力・飲み込む力・滑舌を鍛えたりするパタカラ体操というのがあります。

○**栄養**はまんべんなく、しっかり食べて全身の衰えにつながる低栄養を予防する事が大切です。

○**社会への参加**とは心と体の健康を維持するために人と繋がる・地域社会への参加が大切になります。



入学おめでとうございます

令和5年度に小・中学校へ入学された町内会員のお子様へ入学のお祝いを差し上げました。

	小学校	中学校
1区	30名	38名
2区	16名	16名
3区	5名	7名
合計	51名	61名

小学生 鉛筆1ダースと図書券

中学生 5千円の商品券

慶弔時の申し込み規程

令和4年に申し込み期限が次のように定められました。ご注意ください。

「長寿のお祝い」「入学祝い」は指定の期限内。

「誕生のお祝い」「弔慰金」は発生前後、1年以内。

エール花火

コロナ禍で3年間、思い出に残る行事の少なかった3年生にエールを送るためにPTAが企画した。この企画に賛同した高田町連合町内会・高田町内会も協賛し、3月9日(木)の午後6時過ぎに高田中のグラウンドから花火が打ち上げられた。勿論卒業生に限らず在校生へのエールの気持ちもあった。何処から見上げるのが良いか考えていた私は学校の周りを回っていると見知らぬ人が声をかけてきた。「いつもより人が多いですけど何かあるのですか?」「これから花火が上がるのですよ」少し誇らしげに答えた。そんなやり取りをしていると、『ドーン』と一発打ち上がった。「ほら」とその人の方向を見た時、すでにその姿は消えていた。私はここで、一つの大きな損失に気がついた。一発目の花火を全く見ていないのだ。



予定だと3年生はジャージの色赤⇒2年生緑⇒1年生青のはずなのだが、序章が何色だったか分からない。だが僅か5分のショーだったが素晴らしい。こみ上げるものがあった。

予定だと3年生はジャージの色赤⇒2年生緑⇒1年生青のはずなのだが、序章が何色だったか分からない。だが僅か5分のショーだったが素晴らしい。こみ上げるものがあった。

高田って どんどころ? -35-

— 芭蕉の句碑 —

興禅寺山門手前の小さな池の前に建つ碑。何気なく見ていましたが、改めて見直したら何と発見がありました。崩し字なので読めませんが、山門横の掲示板の説明によると、芭蕉の句とありました。

清滝や波に塵なき夏の月

芭蕉には「野晒紀行」「更科紀行」「奥の細道」など多くの紀行文がありますが、高田を訪れたのでしょうか。詠まれている滝そして流れはどこにあったのでしょうか。

残念ながらこの句は「新芭蕉俳句大成 諸注評釈」(明治書院)によると、「この句が高田で詠まれたかは不明。理由は、元禄七(一六九四)年閏五月二二日から六月一五日までの、嵯峨落柿舎滞在中の作」とされているからです。では句碑はいつ建てられたのでしょうか。「石に刻まれた芭蕉 全国の芭蕉句碑・塚碑・文学碑・大全集」(智書房)に、明治八年(一八七五)十二月 高田村 催主連建立とありました。

文字は、興禅寺七十四代のだそうです。次に句中にある「滝」の流れは、「すそ野の途中にも湧き水があり、水の出口には龍頭がつけられていた。泉の上にはその後興禅寺境内に移された不動堂があった。

この湧き水は日照りのときにも枯れたことがなく、早淵川に向かって開けた谷戸全体を潤していた。」(高田小学校「創立百二十五周年記念誌」)。湧き水の事は、このシリーズ9「ノスタルジア高田S33!」で「現在のたつみ台住宅・天満宮第一住宅の辺りには湧き水が多く、水辺にはオニヤンマ・沢蟹・ホタルが見られました。その一部は『龍神の口』から落ち…」と地元で育った方が書いています。昭和33年は、東京タワーが完成した年で高田は里山の風景が広がっていたようです。



編集後記 春です。何か数年ぶりの気がします。毎年春は来て、鼻がむずむずしてくしゃみが止まらない、そしていつものように桜が咲いていた。それなのに、今年はなぜか違う気がします。今号は久しぶりに多くの記事を載せることが出来ました。発行する側にとっては充実した内容になったのではないかと自負しております。(S.K)